

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	舞踊	種目	バレエ
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	4企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	いっばんざいだんほうじんたにももこばれえだん		
	制作団体名	一般財団法人谷桃子バレエ団		
	代表者職・氏名	代表理事・田代仁美		団体ウェブサイトURL https://www.tanimomoko-ballet.or.jp/
	制作団体所在地	〒 158-0083	最寄駅(バス停)	自由が丘
		東京都世田谷区奥沢5丁目23番20号 パロンズコート自由が丘B1		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	2014年7月		
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
		代表理事 田代仁美 理事 島貫宏昌 理事 高部尚子		(団体構成員) 団員:150名 制作:5名 (加入条件)オーディションにより団幹部が協議、 選考する。
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	三木雄馬
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	高嶋雅通
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		miki@tanimomoko-ballet.or.jp		0368901180

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1949(昭和24)年、東京バレエ団のプリマバレリーナとして活躍していた谷桃子が独立し、谷桃子バレエ団を創立。</p> <p>1997(平成9)年8月4日有限会社谷桃子バレエ団研究所として設立現在に至る。</p> <p>創立以来、毎年のように自主公演を続け、2009年及び10年には創立60周年記念として、古典と創作による6作品の公演を行い、「レ・ミゼラブル」に対し第65回文化庁芸術祭大賞が授与された。</p> <p>2014(平成26)年7月1日一般財団法人谷桃子バレエ団を設立。団の芸術活動及び古典、創作を含むクラシックバレエの普及を目的とし、近年ではDREAM PROJECTと称して全国の子供たちが本物のバレエに触れながら劇場での公演に参加する場所を提供し、育成にも意慾的に取り組んでいる。</p> <p>「主な受賞歴」</p> <p>1984年 ローザンヌ国際コンクール ローザンヌ賞 高部尚子</p> <p>1988年 音楽新聞 村松賞 高部尚子</p> <p>1990年 芸術選奨文部大臣 新人賞 高部尚子</p> <p>1992年 グローバル森下洋子、清水哲太郎賞 高部尚子</p> <p>日本バレエ協会 服部千恵子賞 高部尚子</p> <p>1995年 橘秋子賞 高部尚子</p> <p>2010年 文化庁芸術祭賞 舞踊部門 大賞 「LesMiserable」</p>	
	学校等における公演実績	<p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術による子供育成推進事業(巡回公演事業)A,C区分 ・文化芸術による子供育成推進事業(芸術家派遣事業) ・文化芸術による子供育成推進事業 子供のための芸術鑑賞・体験再興事業 令和4年度 ・文化芸術による子供育成推進事業 文化施設等活用事業 ・子供を笑顔にするプロジェクト 東京都内学校 全9校 <p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)B,C区分 ・笑顔と学びの体験活動プロジェクト 東京都内 全9校 <p>令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)A,B,C区分 ・笑顔と学びの体験活動プロジェクト 東京都内 全6校 <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)A,B,C区分 ・笑顔と学びの体験活動プロジェクト 東京都内 全5校 	
	特別支援学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年10月29日 沖縄県西崎養護学校 ・平成21年10月23日 徳島県立聾学校 ・平成23年10月13日 滋賀県立草津養護学校 ・平成24年10月15日 富山県立富山聴覚総合支援学校 ・平成29年11月16日 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園 ・令和6年度 東京都立田無特別支援学校 ・令和6年度 東京都立白鷺特別支援学校 ・令和6年度 福島大学附属特別支援学校 	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://vimeo.com/1052236857?share=copy	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	TMB_CHA

別添	あり
----	----

【公演団体名 一般財団法人谷桃子バレエ団 】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	チャイコフスキー三大バレエの世界			
企画のねらい	バレエと言うとどこか近寄りにくい芸術のイメージを持つ児童生徒が多い中、音楽の授業でも学ぶ機会の多いチャイコフスキー作品から3大バレエを選び、名シーンを上演することで”最後まで飽きずにワクワクさせる”というバレエを知ってもらいます。その為には事前のWSにおいていかに学校の環境を理解し、児童生徒との距離感を近いものとし、教職員とのコミュニケーションを取ることが大切と考えています。また少ない人員だからこそ出来る技法として児童生徒のすぐ近くにスタッフの操作エリアを設置しスタッフへの興味も持ってもらいます。芸術は見て楽しみ、体験して楽しみ、周りの人たちと作り上げていくものとして知ってもらい、自分自身の将来への選択をより広げることを狙いとしています。			
演目概要・演目選択理由	演目選択理由: 上記重複する部分もありますが、音楽の時間に学んだり街中で耳にすることもある有名な楽曲を選び、音楽とバレエの一体感を表現でき、かつ耳なじみがあるから見やすいということを児童生徒の目線で考え選択しました。 演目概要:2部構成【第1部:”体験と実演”】司会者が分かりやすくバレエの歴史や作曲家チャイコフスキーとバレエの関係を伝えます(共演内容)・バレエの基本動作・言葉を使わない”マイム”・男性が女性と踊る”バドゥ”にてサポート 【第2部:チャイコフスキー三大バレエの世界】ストーリー解説つき。 3作品の名シーンを抜粋して上演。間近で感じるダンサーの息遣いと言葉のないドラマを見せます。			
児童・生徒の参加または体験の形態	公演後の記念撮影、事前希望者を募りバレエメイク体験を行います。 第1部ではプロのダンサーとペアでのマイム体験(お芝居)、サポートにて共演してもらいます。 司会者が分かりやすく解説し、地元の言葉を使ったアレンジなども行います。 児童たちは観客でありながら、体験や共演の際にはステージに上がることが出来ます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	30名程度	
		鑑賞人数目安	500名 体育館の収容人数に順じます	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【第1部:体験と実演】 バレエの基本的な歴史や用語を伝えながら、普段バレリーナがどのようなトレーニングをバレエダンサーが行っているのか?聞いたことはあるけどバドゥって何?マイムって何?といったことを解説をしながら実演し、実際に体験していきます。 【第2部:チャイコフスキー三大バレエの世界】 白鳥の湖、眠れる森の美女、くるみ割り人形の3大バレエ作品の中から、名シーンを抜粋して上演します。 各作品の解説や、あまり知られていないエピソードなども一緒に話します。 作曲:ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 脚本/演出/振付:高部尚子 振付助手:三木雄馬／斉藤加津代 バレエミストレス:斉藤加津代／圓札茉由 バレエマスター:三木雄馬・今井智也			
	公演時間	90	分	
出演者	出演者9名 ※別添「キャスト表」参照			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	・高部尚子「芸術監督」ローザンヌ国際バレエコンクールローザンヌ賞受賞ほか、多数の受賞歴あり ・三木雄馬「プリンシパル」ロシア国立アカデミックバレエにて活動後帰国、多ジャンルと共演を積極的に取り組む。全日本バレエコンクール 第1位文部科学大臣奨励賞、舞踊批評家協会新人賞等 ・斉藤加津代「バレエミストレス」入団後全レパートリーに出演、現在谷桃子バレエ団ユースチーフ講師、セカンドカンパニー講師、バレエミストレス			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者:		9	名
	スタッフ:		7	名
	合 計:		16	名
			運搬	
			積載量:	1.25 t
			車 長:	5.2 m
			台 数:	1 台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		有	前日仕込所要時間		4	時間程度				
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出				
	9:00	9:00～12:30		13:30～15:00	10	～16:30	16時30分				
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。										
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。</small>	6月		7月		8月		9月				
	5日		5日		0日		10日				
	10月		11月		12月		1月				
	12日		5日		15日		5日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		57日				
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真) <small>※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡</small>	 										
	  										
											
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否			該当なし	該当コンテンツ名						
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況						

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 一般財団法人谷桃子バレエ団 】

ワークショップの
ねらい

芸術文化と言われると、少し身構えてしまう児童生徒も多いのが実際に、それ自体は芸術を認識している証拠でもあり、とても良いことなのですが、それだけではなかなか鑑賞しても楽しめるようになるまで時間がかかってしまいます。ワークショップで、基本的なことを覚え、ゲーム感覚で楽しみながら一緒に体験することで身構えてしまう距離感を取り除き、「興味」に変化させることが狙いです。また、学校側と話し合った上で、出来る限りワークショップから本公演までの期間が空かないようお願いしており、新しく芽生えた「興味」がさらに膨らみ、早く観たいとなっているタイミングで本公演を体験鑑賞することでより効果が期待できると考えています。今後の児童生徒の成長の中で、文化芸術に対してのファーストインスピレーションに「興味」の部分が大きくなっていくことも目的としています。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

体育館の収容人数 または
150～200名ワーク
ショ
ップ
の
内
容ワークショップ
実施形態及び内容

ワークショップではバレエの基本の型と簡単なマイム(お芝居)を覚えて、体を動かしながら体験してもらいます。
実施場所は体育館、又は児童が体験するのに十分なスペースが取れるエリアで行っています。
床に座ることもあるので、屋外など天候に左右される場所での実施は理由を説明して、遠慮させていただきます。

最初にバレエを経験したことがあるか？観たことはあるか？といった部分から、身近のどのような文化や競技にバレエが関わっているのかを知ってもらいます。
次に体育でもやるようなストレッチを行います。ここにバレエのストレッチを織り交ぜて短い時間で起きる体の変化を体験してもらいます。
そこから、バレエの基本の足の「型」と手の「型」を教えて児童と一緒に音楽に合わせて振付をし、実際にバレエのレッスンを一緒に行います。
チームに分かれてゲーム的な要素、音楽カウントの数え方などを織り交ぜながら、楽しんで学習と体験ができる内容となっています。
また、本公演で「共演」する際のベース部分もワークショップで学習するので、本公演までに児童生徒が復習しながら想像を膨らませて楽しみに待てるようになっていきます。

実施時間は基本的に小学校45分、中学校50分の1時限分の時間となっています。
実施対象は本公演を鑑賞する児童生徒全員を推奨しています。広さ等の都合で学年を選ばなければならない場合には本公演で「共演」を予定している学年に受けてもらうことが効果的になります。

さらに、ワークショップ時に本公演の演目に関わる楽曲をCDで学校に教材として提供しており、音楽の時間や、給食時間中などの放送の時間で活用してもらい、音楽に慣れていきながら、同時にどのような踊りなのか想像を膨らませられるように子供の「イメージする力」を引き出された状態で本公演の体験鑑賞に繋がるように工夫しています。

ワークショップ時に本公演の※パンフレットを見ていただけるように準備を早めて作成しており、その中にはワークショップで学んだ基本の「型」やマイムが復習できるように掲載していますので、ワークショップ後に体験した児童生徒に改めて見ておいてもらうようにアナウンスをお願いしています。

その他ワークショップに
関する特記事項等

実施内容にも記載のように、床に座ることや、体を動かします。
その為、服装に関してスカートではなくパンツスタイルでの体験をお願いします。

また、こちらのワークショップでは教職員の先生もぜひ一緒に参加して体験していただくことを推奨しています。
その際に児童の変化を見ていただき、児童生徒のワークショップ後の様子を本公演時までの準備のやり取りで教えていただけると、本公演での体験内容を児童生徒に合わせてアレンジすることも出来るため、協力をお願いしています。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般財団法人谷桃子バレエ団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
会場の設置階の制限	条件なし		主幹引き込み電源容量		特になし A以上
舞台設置面積	間口	10 m	奥行	4.5 m	
	高さ	3.5 m			
舞台設置場所	フロア対応	条件が合えば可	学校のステージでの対応		条件が合えば可
搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	2 m	
遮光の要否	遮光要件なし		緞帳の要否		あれば使用する可能性がある
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		条件なし
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		50 m以内
搬入車両の種類	ハイエース		台数	1 台	
搬入車両の大きさ	車幅	1.8 m	車長	5.2 m	
備考	搬入場所が離れる場合には雨の場合、機材が濡れないように校内を通らせていただく場合があります				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	特になし	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	鑑賞対象となる児童・生徒全員	授業の1時限分	授業時間内	バレエの基本動作の体験 共演内容の体験	
ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	授業の1時限分	授業時間内	バレエの基本動作の体験 共演内容の体験		
本公演	鑑賞対象となる児童・生徒全員	特になし				
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	20～30分	中休みまたはお昼休み	第1部、2部共演シーンのリハーサル	学校の時間割に合わせて原則動きますが、共演シーン出演の生徒さんは準備の関係で給食後にすぐに準備に来ていただく場合があります	

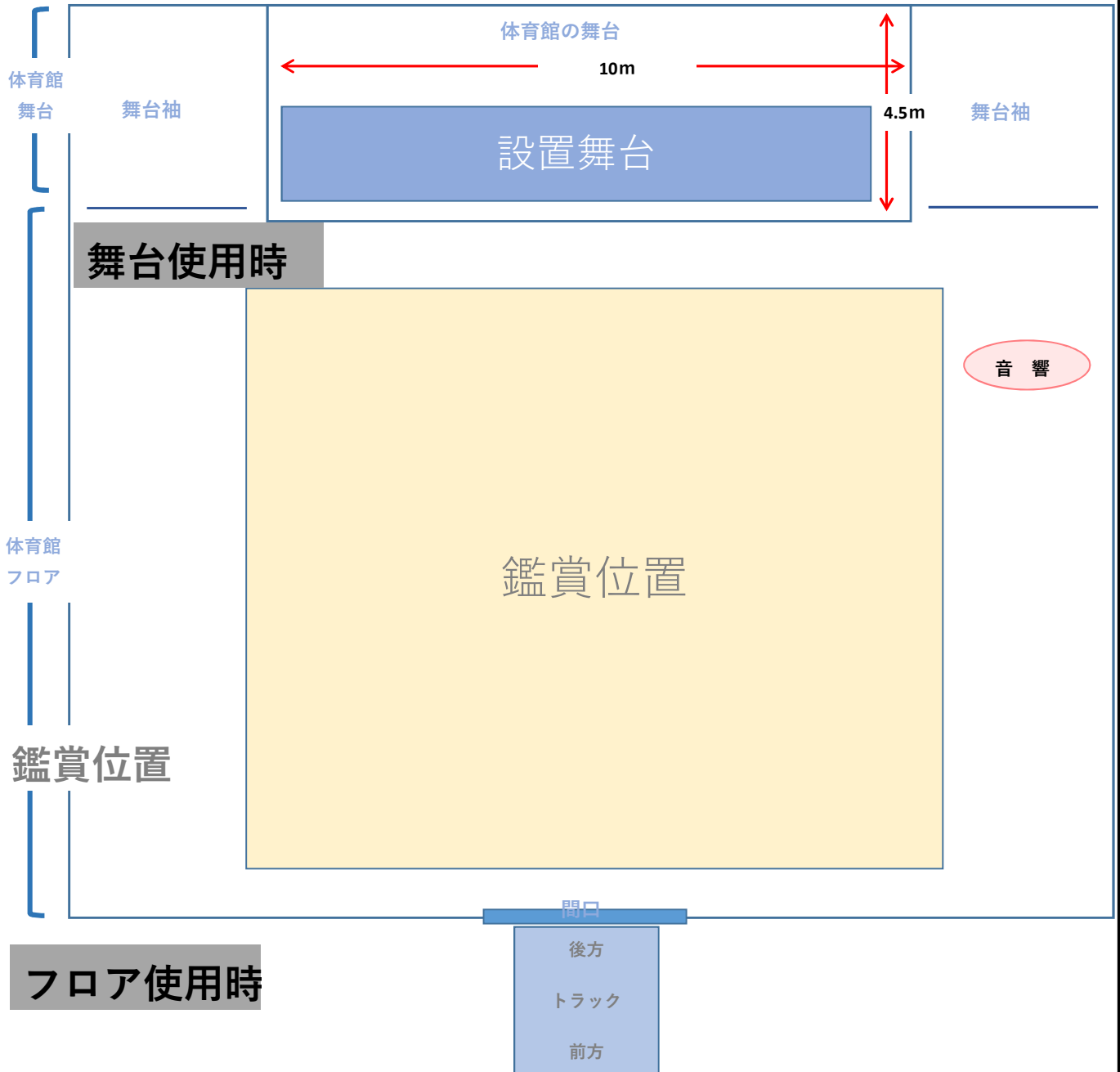
個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	搬入条件や実施日によっては前日仕込みが必要な場合がありますが、御対応は可能でしょうか？	
	2		
	3		

(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名 一般財団法人谷桃子バレエ団】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

日本全国の児童生徒に、等しく舞台芸術に出会う機会となること。
舞台芸術に関わるスタッフや出演者に直に接することで、いろいろな立場で技術を習得した専門家が集まって一つの作品を作っていることなどを実際に体験して頂き、舞台芸術への興味を広げてもらうきっかけとなることを目標として行っています。

舞台芸術を鑑賞することにより得られる感動や喜び、ハラハラする緊張感や物語の想像など、子どもたちの情操に働きかける公演となるよう心がけワークショップから一貫性のある内容で実施しています。

自ら劇場へ出かけて鑑賞するだけでは無く、舞台芸術に関わる仕事を一つの可能性として捉えてもらうことにより、新しい夢が生まれ、それがさらに舞台芸術の発展につながるようと考えており、芸術を通して心をより豊かにすることで自身の将来の選択肢が広がり、その中でも芸術に関わることを選んだ生徒さんが、いつか本事業のような形で将来学校にて公演するという事が実現できればと考えています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

生徒数が少ないなど開催校の状況によっては各地域の方々にも本公演の観賞にご参加頂けるよう促し、児童生徒と一緒に舞台芸術に触れて頂きながら、芸術文化の価値や重要性について広くご理解頂けるよう務めています。

児童生徒のなかには、地域柄自ら劇場へ足を運ぶことはないんじゃないかと考える人がいらっしゃるかもしれない、成長された際にたとえ子どもの頃であったとしても‘バレエを観たことがある’と言える大切な思い出となる”消えない心の宝物”となるように、接し方にも注意を払っています。バレエ団としても子どもたちの率直な反応を通して、人との繋がりを感じ、心を豊かにすることを目的として取り組んでいます。

また、疑問質問には積極的に回答しており、学校が望んだ場合には質疑応答や感想を話時間なども考慮しており、生徒たちの興味がより膨らんでいくようにしています。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

本事業の「ワークショップ」と「本公演」の2段階となる実施の特性を活かすためにも、ワークショップの参加者が本公演を体験鑑賞することで、より効果をもたらすことを丁寧に説明しています。担当校の決定時にまずはお電話にて御挨拶、その後e-mailにて今後の流れの御案内を資料送付させていただき、初めて本事業を実施する学校であってもワークショップまでに事前に行える打ち合わせを終えておくことで、本公演に向けて学校と団体が共に児童生徒への効果をイメージして取り組みやすいように準備しています。

また、学校から質問があった際には業務量が多い担当の先生に合わせてe-mailと電話連絡のどちらでも対応できるようにしています。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

第1部、第2部と2部構成のプログラムを設けており、それぞれに共演できるシーンを用意しており、その中で低学年向き・高学年向きなど学校側がイメージしやすいようにレベル設定をしています。また、本公演に先立ってのWSでは本公演の主要メンバーを必ず帯同させており、生徒たちに顔を覚えてもらうと同時にこちら側も生徒さんの特徴を覚え、声掛けしコミュニケーションを取るようにしています。生徒さんたちがWSで学んだことがワクワクを産み出し、本公演を楽しみに待ってもらえるように、配布掲示用の公演プログラムにはWSのおさらいコーナーも合わせて掲載しています。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

谷桃子バレエ団ではSNSを活用しており、学校巡回公演で訪れた学校からのメッセージも多数いただいています。実施校には無料で鑑賞できるYouTubeをご案内しており、それを通して谷桃子バレエ団の活動を見ていただけており、昨年度は実際に自主公演時に〇〇学校でバレエを観ました！という生徒さんや学校の先生もいらつやっており、学校での公演鑑賞をきっかけに劇場へ足を運ぶという一つの目標に繋がってきていることを実感しています。

別添

なし

【公演団体名 一般財団法人谷桃子バレエ団 】

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

①離島・へき地等における公演実績

・文化芸術による子供育成総合事業 C区分 令和3年度
※九州、岡山、沖縄 地域
・文化芸術による子供育成推進事業 C区分 令和4年度
※京都、北関東、東北 地域
・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 令和5年度
※北関東、東京(離島)
・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 令和6年度
※北関東
・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 令和7年度
※九州、沖縄地域

②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫

【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】

出演者は様々な場所での公演に適應できるダンサーのみで構成しており、解説司会者を入れることにより、上演時に必要な重要な役どころを経験豊富なダンサーが早着替えて衣裳を変え入れ替わり登場出来るようにしている。(少人数による質の低下防止) その他、事前にワークショップで来校することが難しい場合であっても学校側に過度な負担が起きないように、要求する点を最小限に抑え、直前まで実施イメージが湧かず不安という事が起きないように、過去実施時の資料を学校に提供している。イレギュラー対応として事例では、離島の特殊な条件で予定していた実施日の変更を余儀なくされた際、学校側と話し合い、事前オンラインでバレエレクチャーを行い、実施までの期間が空いてしまったことによって懸念されるという心の距離感を保つ工夫も行った。

【質を保つための工夫】

スタッフ・出演者共に必ずフォローしあえる能力のあるメンバーでの実施を徹底しており、少人数だからこそ役割分担を明確にしている。また実施の工夫と同様の内容ではありますが本事業は事前学習があることでより効果を生み出すとこれまでの経験で実感しており、事前に学習を出来る環境を各学校ごとに対応しており、共演するシーンや初めて目の当たりにする芸術に委縮して十分な効果が得られないという事が起きないように、学校側との距離感を大切に実施している。
また、大掛かりな装置を持っていけないからこそ重厚感のある全幕公演で使用する衣裳を持っていき、ダンサーの能力以外の面でも質を保つための工夫をしている。

③特別エリア区分応募における、費用面の工夫

小規模公演として見やすく、様々な場所に移動でき、かつ経費を削減するために、大がかりな舞台装置を使用しないようにして舞台経費を削減している。
また、陸路で移動可能なエリアに関しては1台のハイエースに機材を積載することで、派遣費を削減。特に演出効果上でどうしても照明が必要になる演出というものは行わず、通常の体育館の形態で鑑賞に問題が起きない構成演出としています。
その他にも特殊な事情で、移動が困難な地域には当日にワークショップを同時開催することで派遣費を削減することを可能としています。
またレベルの高いキャスト、スタッフで派遣することで人数を減らすことが実現しており、単純に費用を抑えるのではなく、質の高い公演が実施可能となるようにしています。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2 【公演団体名 一般財団法人谷桃子バレエ団 】

谷桃子バレエ団 メンバーリスト

1	今井智也	21	石川真悠	42	伊藤百花	63	武田 空
2	三木雄馬	22	大塚アリス	43	鈴木菜花	64	村上桜子
2	永橋あゆみ	23	光永百花	44	渡辺咲良	65	若松祐花
3	檜山和久	24	高井景介	45	尾島結子	66	松田華奈
4	中野吉章	25	昂師吏功	46	飯田 嵐	67	井川ころこ
5	岩上純	26	松尾力滝	47	北浦璃人	68	梶原麗奈
6	日原永美子	27	貫渡竹暁	48	安田 幹	69	齋藤 舞
7	斉藤加津代	28	島倉花奈	49	児玉充希	70	関根珠希
8	石井潤太郎	29	渡部 栞	50	田淵玲央奈	71	高藤帆花
9	齊藤 耀	30	嵩田紗季	51	中山雄介	72	服部友紀
10	加藤未希	31	高谷麗美	52	二村康哉	73	玉段真帆
11	山口緋奈子	32	石森さくら	53	西出拓真	74	三宅里歩
12	前原愛里佳	33	梶原芽衣	54	大貫千尋	75	和田朋佳
13	森岡 恋	34	井藤七菜	55	種村香音	76	安孫子きり
14	田村幸弘	35	渡邊桜子	56	久富礼子	77	大井彩花
15	森脇崇行	36	野田莉緒	57	森田風花	78	鈴木謙信
16	種井祥子	37	巻田恵瑠	58	奥山紗希子		
17	塚田七海	38	齊藤綾乃	59	今西由紀		
18	佐藤舞	39	鈴木利沙	60	川名佑芽		
19	白井成奈	40	新井ひな子	61	小林杏奈		
20	手塚歩美	41	石本晴子	62	高橋夏海		

キャスト表

※上記のメンバーから選出して出演いたします。
R8年度の新規団員によって変動する場合があります。 R7年9月現在